ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

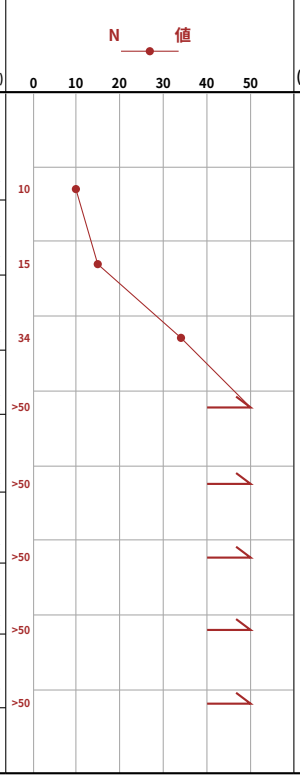
シートNO.

ボーリング名	B-2(斜面中部)	調査位置				北　緯	36 ° 34 ' 10.0000 "
発 注 機 関	栃木県鹿沼土木事務所			調査期間	2008-06-16 ～ 2008-06-18	東　経	139 ° 33 ' 19.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	305.18 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 48.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	8.25 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	304.58	0.60	0.60		表土 (SF)	暗茶褐		軟らかい	礫混じり粘性土 植生根混入		
1 2	302.18	2.40	3.00		崖錐堆積物 (Tl)	灰褐	中ぐらい		上部細粒土分多い 砂礫状呈す(風化礫主体) 全体的にルーズで崩れ易い		
3 4 5 6 7 8	296.93	5.25	8.25		風化泥岩 (Ms)	暗灰			中・古生代の泥岩 コアは主に砂礫状呈し、部分的に片状となる 全体的にクラック多く脆い 深度4.60m付近層厚2cm程度の乳白色の層介在 傾斜60 ° 程度の斜状クラック多い 部分的にクラック面が褐色帯びる 掘削中の返送水あり 地下水位は確認されず		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	5	10／30	10
1.45					
2.15	4	5	6	15／30	15
2.45					
3.15	9	11	14	34／30	34
3.45					
4.15	23	27／6		50／16	>50
4.31					
5.15	20	30		50／20	>50
5.35					
6.15	21	29／5		50／15	>50
6.30					
7.15	50			50／10	>50
7.25					
8.15	50			50／10	>50
8.25					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						06/17